

消食基第 75 号  
令和 6 年 6 月 12 日

食品安全委員会事務局評価第一課長 殿  
食品安全委員会事務局評価第二課長 殿

消費者庁食品衛生基準審査課長  
(公印省略)

令和 6 年度食品健康影響評価依頼等について

「暫定基準を設定した農薬等の食品健康影響評価依頼計画」(平成 17 年 11 月 28 日付け厚生労働省発食安第 1128001 号別添の別紙 1) に基づき、令和 6 年度の食品健康影響評価の依頼計画を、別紙 1 のとおり提出します。

また、「暫定基準が設定された農薬等の食品健康影響評価の実施手順」(平成 18 年 6 月 29 日付け府食第 542 号別添) に基づき、推定摂取量の試算を行い、暫定基準の見直し案について報告しているところですが、令和 5 年度に暫定基準を見直した農薬等について、推定摂取量の試算結果を別紙 2 のとおり報告します。



## 令和 6 年度食品健康影響評価依頼計画

消費者庁食品衛生基準審査課

## 1. 食品健康影響評価の依頼の現状

食品中に残留する農薬、飼料添加物及び動物用医薬品（以下「農薬等」という。）に係るポジティブリスト制度の導入に伴い、平成 18 年 5 月に 760 物質<sup>\*</sup>について、暫定的に基準値を設定した。また、年度毎に計画を立てて評価に必要な資料の収集及び整理ができたものから、順次、食品安全委員会へ食品健康影響評価の依頼を行うこととしている。

令和 6 年 3 月 31 日時点では、暫定基準を設定した 760 物質<sup>\*</sup>のうち、これまでに 703 物質について評価を依頼し、そのうち 573 物質については評価が終了している（別添 1 参照）。

## 2. 暫定基準見直しの基本的な考え方

食品健康影響評価の依頼を行っていない 57 物質のうち、現時点において資料を収集できているもの及び資料の有無を確認中のものが 33 物質（別添 2 の分類 1、2 及び 3 が該当）あり、一方、資料を収集できていないものが 24 物質（別添 2 の 4 が該当）となっている。

前者については、食品安全委員会事務局と協議を行い、計画的に評価依頼を進めていくこととしている。なお、前者のうち農薬等として国内での登録、承認等がある物質については、農薬の再評価が進められていることも踏まえて、農林水産省と調整をした上で、食品安全委員会事務局と協議することとしている。

後者については、毒性や残留試験データだけではなく、使用実態についても情報収集に苦慮する物質が多いことから、資料の入手が困難である物質については、一律基準によるリスク管理措置の実施を検討するとともに、現在の暫定基準の妥当性について評価を依頼することも検討する。なお、一律基準によるリスク管理に移行する物質であっても、使用や残留が確認された時点で、リスク管理措置を見直すこととする。

## 3. 令和 6 年度の食品健康影響評価依頼計画について

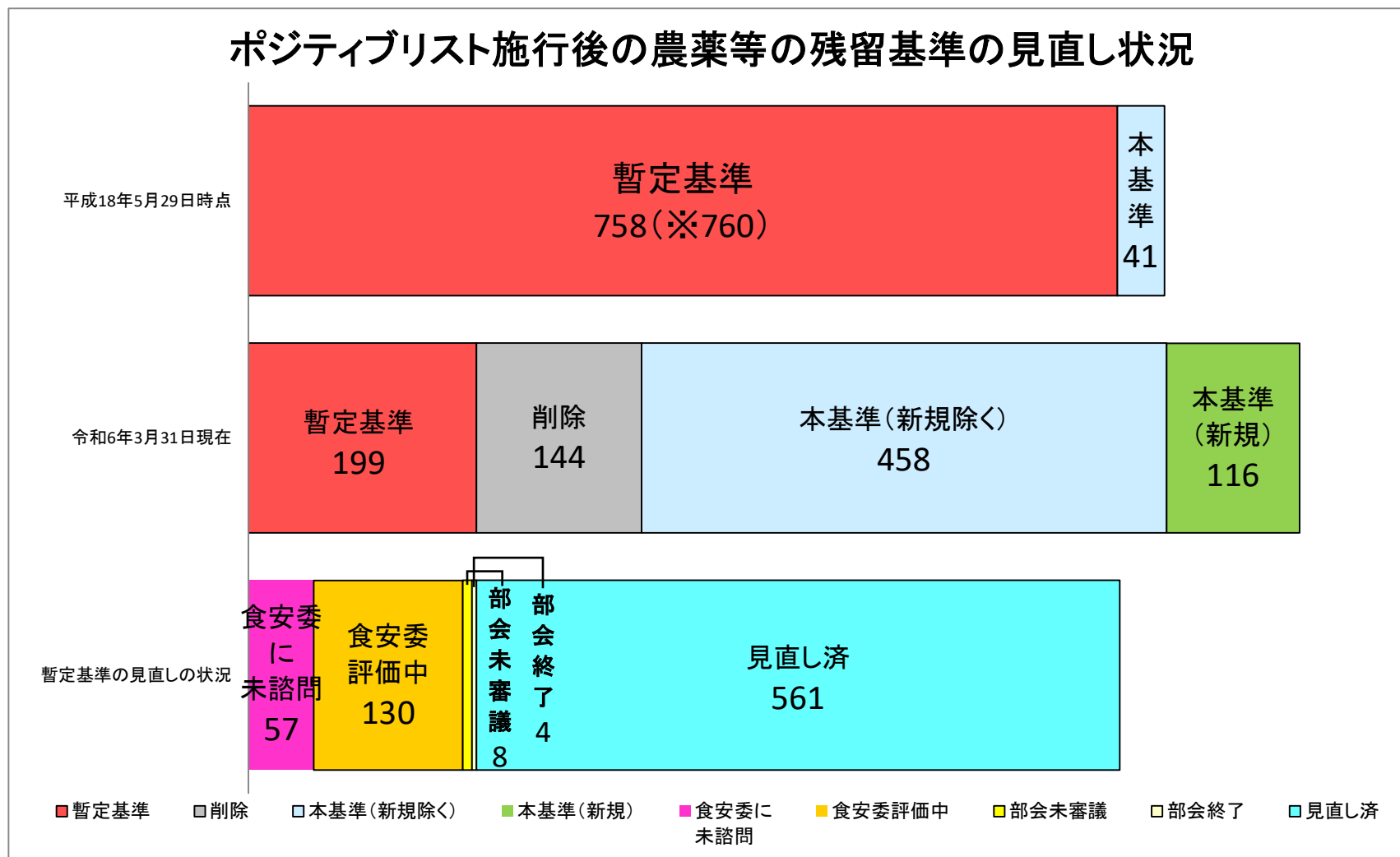
食品健康影響評価の依頼を行っていない 57 物質のうち、資料を収集できているもの及び資料の有無を確認中のもの 33 物質について、資料の整理ができたものから評価依頼を行う予定である。その他の物質については、上記方針に基づき対応を検討し、状況に応じて評価依頼を行う予定である。

## 4. その他

リスク管理の観点から効果的な基準設定及び暫定基準の見直しができるよう、関係府省間で対応について協議させていただきたい。

---

<sup>\*</sup>平成18年5月時点の暫定基準は758物質であるが、暫定基準見直しの結果、一部で品目の統合や分割を行っており、現在の品目数に合わせて集計している。



※1平成18年5月29日時点の暫定基準設定品目数について、品目の分割及び統合を考慮し、現在の基準設定品目数に合わせて集計すると760になる。なお、暫定基準の見直しの結果「ニトロフラン類」は「ニトロフラゾン」、「ニトロフランチン」、「フラゾリドン」及び「フラルタドン」の4品目に、「ポリオキシン」は「ポリオキシンD亜鉛塩」及び「ポリオキシン複合体」の2品目に分割し、「アルジカルブ」及び「アルドキシカルブ」は「アルジカルブ及びアルドキシカルブ」に、「ピランテル」及び「モランテル」は「ピランテル及びモランテル」に統合した。グラフの中段及び下段は現在の基準設定品目数に合わせた集計である。

※2『本基準数(新規除く)』は、ポジティブリスト制度導入後の新規剤の本基準を除く。

※3『部会終了』には、一度部会で審議された後、再審議を予定している剤を含む。

※4『見直し済』は、暫定基準見直しの告示済みのもの及び暫定基準見直しの結果、不検出基準を維持したものを含む。

## 暫定的に基準値を設定した評価依頼予定物質の内訳について

分類	物質数	内 容
1	0	食品安全委員会事務局と協議中
2	6	消費者庁で確認中（農薬等として国内登録・承認・指定があるもの）
3	27	消費者庁で確認中（農薬等として国内登録・承認・指定がないもの）
4	24	資料未入手

分類	番号	品目名	英名	主な用途	農業 取締法	医薬品 医療機器法	飼安法	Codex	JECFA	JMPR	基準参照国				
											米国	濠州	EU	カナダ	N Z
2	1	シアン化水素	HYDROGEN CYANIDE	農業・殺虫剤・殺鼠剤	○					○			○	○	
2	2	ジチオカルバメート	DITHIOCARBAMATES	農業・殺菌剤・鳥忌避剤・鼠族忌避剤	○			○		○		○	○		○
2	3	トリクロロホン	TRICHLORFON	農業/動物薬・殺虫剤		○		○	○	○		○	○		○
2	4	リン化水素	HYDROGEN PHOSPHIDE	農業・殺虫剤・殺鼠剤	○			○							○
2	5	レスメトリン	RESMETHRIN	農業/動物薬・殺虫剤		○							○		
2	6	臭素（臭化メチル）	BROMIDE (METHYL BROMIDE)	農業・殺虫剤	○					○			○		
3	7	1,2-ジクロロプロパン	1,2-DICHLOROPROPANE	農業（ミネラルウォーターにのみ基準あり）											
3	8	1,2-ジブロモ-3-クロロプロパン	1,2-DIBROMO-3-CHLOROPROPANE	農業（ミネラルウォーターにのみ基準あり）											
3	9	1,2-ジブロモエタン	1,2-DIBROMOETHANE	農業（ミネラルウォーターにのみ基準あり）									○		
3	10	2,4,5-T	2,4,5-T	農業・除草剤						○			○		
3	11	DDT	DDT	農業・殺虫剤						○			○		
3	12	イソプロトロン	ISOPROTURON	農業（ミネラルウォーターにのみ基準あり）									○		
3	13	エトリジアゾール	ETRIDIAZOLE	農業・殺菌剤					○				○		
3	14	エンドリン	ENDRIN	農業・殺虫剤・ダニ駆除剤・線虫駆除剤						○			○		
3	15	オルトフェニルフェノール（OPP）	2-PHENYLPHENOL	農業・殺菌剤						○			○		
3	16	カプタホル	CAPTAFOL	農業・殺菌剤						○					
3	17	クロロトルロン	CHLOROTOLURON	農業（ミネラルウォーターにのみ基準あり）									○		
3	18	ジフェニル	BIPHENYL	農業・殺菌剤						○			○		
3	19	ジフェニルアミン	DIPHENYLAMINE	農業・殺菌剤				○		○			○		○
3	20	ダミノジッド	DAMINOZIDE	農業・成長調整剤						○			○		
3	21	テルブチラジン	TERBUTYLAZINE	農業（ミネラルウォーターにのみ基準あり）									○	○	
3	22	ドジン	DODINE	農業・殺虫剤				○		○			○	○	
3	23	トリアジメホン	TRIADIMEFON	農業・殺虫剤				○		○			○	○	
3	24	トリアレート	TRI-ALLATE	農業・除草剤						○			○	○	○
3	25	ニコチン	NICOTINE	農業・殺虫剤									○	○	
3	26	ピアラホス	BILANAFOS(BIALAPHOS)	農業・除草剤											
3	27	ピンドン	PINDONE	農業・殺鼠剤											○
3	28	フェノプロップ	FENOPROP	農業（ミネラルウォーターにのみ基準あり）											
3	29	プロパキサホップ	PROPAQUIZAFOP	農業・除草剤									○	○	
3	30	ペンタクロロフェノール	PENTACHLOROPHENOL	農業（ミネラルウォーターにのみ基準あり）											
3	31	ホメサフェン	FOMESAFEN	農業・除草剤											○
3	32	ワルファリン	WARFARIN	農業/動物薬・殺鼠剤・血液凝固抑制剤											○
3	33	二臭化エチレン	ETHYLENE DIBROMIDE (EDB)	農業・線虫駆除剤・殺虫剤											○

分類	番号	品目名	英名	主な用途	農業 取締法	医薬品 医療機器法	飼安法	Codex	JECFA	JMPR	基準参照国				
											米国	豪州	EU	カナダ	N Z
4	34	2,6-ジイソプロピルナフタレン	2,6-DIISOPROPYLNAPHTHALENE	農業・成長調整剤							○				
4	35	イソフェンホス	ISOFENPHOS	農業・殺虫剤						○					
4	36	オキサジキシル	OXADIXYL	農業・殺菌剤								○			
4	37	オメトエート	OMETHOATE	農業・殺虫剤・ダニ駆除剤				○		○					
4	38	オリザリン	ORYZALIN	農業・除草剤								○			
4	39	キナルホス	QUINALPHOS	農業・殺虫剤・ダニ駆除剤									○		
4	40	キントゼン (PCNB)	QUINTOZENE	農業・殺菌剤				○		○					
4	41	クロピドール	CLOPIDOL	農業/動物薬・合成抗菌剤・寄生虫駆除剤							○			○	○
4	42	ジクロフルアニド	DICHLORFLUANID	農業・殺菌剤				○		○					
4	43	デメトン-S-メチル	DEMETON-S-METHYL	農業・殺虫剤・ダニ駆除剤						○					
4	44	ピテルタノール	BITERTANOL	農業・殺菌剤				○		○					
4	45	ブピリメート	BUPIRIMATE	農業・殺菌剤								○	○		
4	46	トリアジメノール	TRIADIMENOL	農業・殺虫剤				○		○		○	○		
4	47	トリフルムロン	TRIFLUMURON	農業/動物薬・殺虫剤								○	○		
4	48	ナプロバミド	NAPROPAMIDE	農業・除草剤								○			
4	49	ビオレスメトリン	BIORES METHRIN	農業・殺虫剤				○		○					
4	50	ピラクロホス	PYRACLOFOS	農業・殺虫剤								○			
4	51	ヘキサクロロベンゼン	HEXACHLOROBENZENE	農業・殺菌剤						○		○			
4	52	フルミクロラックペンチル	FLUMICLORAC PENTYL	農業・除草剤							○	○			
4	53	プロボキスル	PROPOXUR	農業/動物薬・殺虫剤						○	○	○	○		
4	54	ブロモプロピレート	BROMOPROPYLATE	農業・ダニ駆除剤				○		○			○		
4	55	メタベンズチアズロン	METHABENZTHIAZURON	農業・除草剤								○			
4	56	メトキシクロール	METHOXYCHLOR	農業・殺虫剤						○					
4	57	二塩化エチレン	ETHYLENE DICHLORIDE	農業・殺虫剤						○		○			

・参考情報として平成28年度時点にて登録や基準値設定がなされている農業等について「○」印を付けた。

## 令和5年度に暫定基準を見直した農薬等における推定摂取量の試算結果

改正日	品目	ADI (mg/kg体重/日)	推定摂取量の対ADI比(%)								ARFD (mg/kg体重)	短期推定摂取量の対ARFD比(%)の最大値		
			国民全体 (1歳以上)		幼小児 (1~6歳)		妊婦		高齢者 (65歳以上)			国民全体 (1歳以上)	幼小児 (1~6歳)	妊婦又は妊娠している可能性のある女性
			TMDI	EDI	TMDI	EDI	TMDI	EDI	TMDI	EDI				
1 令和5年7月26日	動物用医薬品ジミナゼン	0.02	7.9	/	21.6	/	25.4	/	5.9	/	/	/	/	
2 令和5年10月18日	動物用医薬品及び飼料添加物アンプロリウム	0.1 <sup>注1</sup>	4.3	/	11.3	/	4.9	/	3.8	/	/	/	/	
3 令和5年12月20日	農業フェナミホス	0.0008	/	2.0	/	6.2	/	1.8	/	2.5	0.0025	30(メロン)	50(メロン)	
4 令和6年3月4日	農業イプロジオン	0.02	/	37.4	/	69.4	/	35.4	/	42.5	設定の必要なし <sup>注2</sup> 0.9	/	20(ぶどう)	
5 同上	農業パラコート	0.0045	/	6.9	/	15.0	/	6.7	/	7.1	0.0045	20(いちじく)	30(かんしょ)	

## 令和5年度に暫定基準を見直した農薬等のうち、ADIが設定されていない品目における実施内容

改正日	品目	内容
1 令和5年7月26日	動物用医薬品イソシンコメロン酸二プロピル	食品健康影響評価にて「現行のリスク管理の範囲で使用される限りにおいて、食品健康影響は無視できる程度」と評価され、基準値を維持した。
2 同上	動物用医薬品ピリメタミン	食品健康影響評価にて「現行のリスク管理の範囲で使用される限りにおいて、食品健康影響は無視できる程度」と評価され、基準値を維持した。
3 同上	動物用医薬品マホブラジン	食品健康影響評価にて「現行のリスク管理の範囲で使用される限りにおいて、食品健康影響は無視できる程度」と評価され、基準値を維持した。
4 令和5年10月18日	動物用医薬品ジクロキサシリン	食品健康影響評価にて「現行のリスク管理の範囲で使用される限りにおいて、食品健康影響は無視できる程度」と評価され、基準値を維持した。
5 同上	動物用医薬品セフロキシム	食品健康影響評価にて「現行のリスク管理の範囲で使用される限りにおいて、食品健康影響は無視できる程度」と評価され、基準値を維持した。
6 令和5年12月20日	動物用医薬品オルメトプリム	食品健康影響評価にて「現行のリスク管理の範囲で使用される限りにおいて、食品健康影響は無視できる程度」と評価され、基準値を維持した。
7 同上	動物用医薬品クロステボル	食品健康影響評価にて「食品を介して人の健康に及ぼす影響を評価することはできない」と評価され、基準値を削除した。
8 同上	動物用医薬品トリプロムサラン	食品健康影響評価にて「食品を介して人の健康に及ぼす影響を評価することはできない」と評価され、基準値を削除した。
9 令和6年3月15日	動物用医薬品及び飼料添加物エトパベート	食品健康影響評価にて「現行のリスク管理の範囲で使用される限りにおいて、食品健康影響は無視できる程度」と評価され、基準値を維持した。
10 同上	動物用医薬品ヒドロコルチゾン	食品健康影響評価にて「現行のリスク管理の範囲で使用される限りにおいて、食品健康影響は無視できる程度」と評価され、基準値を維持した。

ADI:許容一日摂取量

ARFD:急性参照用量

TMDI:理論最大一日摂取量

EDI:推定一日摂取量

注1 国際機関(JECFA、JMPR)、外国政府機関(米国、EU、豪州等)等のADI

注2 上段:国民全体、下段:妊婦又は妊娠している可能性のある女性のARFD